



## 特徴

- せん断キーで横荷重に抵抗する構造とすることで、コンクリート道床を約50%スリム化（D型弾直軌道比）。
- 短繊維補強コンクリートを用いるとともに構造を最適化することで、構造物とのずれ止めを除く鉄筋が不要な構造とし、配筋作業を省略。
- まくらぎ端面とせん断キーに型枠を当てるだけで正確な仕上がり寸法が得られるようにすることで、型枠の位置調整を簡略化。

上記の特徴により、D型弾直軌道と比べて、コンクリート道床の施工コストを60%低減（軌道全体の施工コストにして20%低減）できると共に、良好な施工性によって軌道工事の工期を40%以上短縮できます。

## 用途

- 低コストな弾性まくらぎ直結軌道として活用することができます。
- S型弾直軌道の導入に当たっては、試設計や具体的な施工方法が示されている「設計・施工の手引き」をご活用ください。鉄道総研が設計、施工の技術指導を行うことも可能です。

### ■ 実施工の状況（型枠構築）



### ■ 実施工の状況（完成状況）



本研究の一部は、国立大学法人横浜国立大学との共同研究により実施しました。

関連特許：特許第6265820号 まくらぎ直結軌道構造

特許第6407796号 型枠押さえ機能を有するまくらぎ

特開2019-094617 防振まくらぎ及び防振まくらぎ構造

特許出願中 まくらぎ直結軌道の施工方法及びこれに用いる軌きょう支承装置